

### 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 形態化身体知を規範とした自動診断プラットフォームの創生
2. 研究代表者： 津村 遼介（産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 主任研究員）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、ロボティクスを用いた術者の形態化身体知を規範とした、腹部超音波検査の自動診断プラットフォームを構築し、医療従事者のスキルに依存しない診断技術の提供を目指す研究である。

フェーズ 1 では、認識、接触、探索の 3 点で要素技術を開発し、実際に胆嚢の超音波自動検出のシステムを実現した。論文や特許申請などの成果も評価できる。

フェーズ 2 は、診断可能な超音波像を取得する上で難易度の高い腹部走査での画像検査手法の確立に期待する。

以上